



- 講師：清水美知夫(株式会社博進堂 会長)
- 日時：2017年9月8日(金) 13時半～17時
- 会場：森の共有実修所「点塾」
- 参加人数：5名

[プログラム]

- チェックイン「受講を決めた理由」
- 読書会
- ハガキを書く
- ふりかえり

デジタル時代こそ、想いをハガキで伝えたい ハガキ道と読書会

お客様にお会いしたあと、すぐにハガキを送るという清水会長。これは交渉術ではなく、お客様との関係づくりだと言います。

実際にハガキを書いてみるとその効能がわかるそうです。スラスラと筆が進む受講生もいれば、何分経っても中々書けない受講生もいました。「何を書いたら相手が喜んでくれるかを考えることが大事、でも出して届くだけでも価値がある。」というアドバイスを清水会長からいただきました。

ハガキを書いた受講生からは、「自然体で自分なりに書くことができた。」「日常に取り入れたい。」「送る相手のことを思い浮かべながら書いた。」という感想が出ました。手書きで想いを伝える良さを味わう講座になりました。



[講師より]

「ハガキ道と読書会」によくぞ皆さん参加して下さいました。いつもお話するのですが、この講座は「一方的に教える」のではなく、共に「読み、書き、時空間を共有する」事で互いに気づきを得る事が目的です。

多少なりとも、その辺りを感じてもらえたら幸いです。「教える側が、教わる側よりも勉強になる」とは、よく言われること。今回は珍しく、「プログラムとシナリオ」を作って臨みましたが、現場は思った通りにならず、ライブ・アドリブ・対応、を求められました。

以前から、「場に問う」とか「場の流れを読む」と言われますが、「己を虚しゅうする」ことの大切さも感じた次第です。

勉強になりました。参加された方ご苦労様でした。

株式会社博進堂 会長
清水美知夫



CHECK OUT CARD

将来どんな職に就くかは
分かりませんが、ハガキを
書くことは取り入れていこうと
思いました。

今は実家に頻繁に帰って
いますが、時間が経つにつれて
どうせなくなると思うと、思い
伝える手段としてハガキを要
用する
ことは大切だと思いました。

CHECK OUT CARD

やはり
読み書き(ノロバン)
は基本と思いました。
ありがとうございました。
ABE.

CHECK OUT CARD

本日はありがとうございました。
投函せすとも心の
あたたかさを伝えます、
活用もありがとうございます。
習慣に作ることを願っています。

CHECK OUT CARD

ゆったりと
時間が流れ
気持ち楽に
なれました。
感謝。

CHECK OUT CARD

人前で話をあること
あんなので緊張
しました。
絵がキは結構書く
ことがありました。
夕方書きで、いろいろな事
書いて書くということだ
新鮮でした。

